

議 事 録

会 議 名	令和6年第2回蒲郡警察署協議会（定例会）
日 時 ・ 場 所	令和6年6月13日（木） 午後3時から午後5時までの間 ----- 蒲郡警察署 講堂
出 席 者	1 委員 松村 のぞみ 会長 小林 正人 副会長 稲吉 貴之 委員 近藤 昌泰 委員 羽賀 久芳 委員 以上5名（定数8名） ----- 2 警察署員 寺田署長 成田副署長 塚田警務課長 鈴木会計課長 守田生活安全課長 木村地域課長 石原刑事課長 松井交通課長 金警備課長 以上9名
諮 問 事 項 等	特殊詐欺被害防止対策と防犯カメラの設置拡充方策について
答 申 等 の 概 要	1 受け子等、少年を特殊詐欺に加担させないため、大学を含めた各学校における特殊詐欺非行防止講話等の実施 2 長寿会や老人クラブ等への特殊詐欺被害防止講話等の実施 3 蒲郡市が管理する防犯カメラ設置事業への働きかけと企業への設置促進 4 防犯カメラ設置箇所へのステッカー等の配布など防犯カメラの設置を告知
そ の 他	次回開催予定 令和6年9月下旬

会議の経過及び発言の要旨	
1	委員挨拶
2	署長挨拶
3	幹部挨拶
4	前回の答申に対する取組状況（地域課長説明）
	(1) 諮問事項
	新入学生を始めとした子供たちを守るための諸対策
	(2) 答申事項
	ア 始業式や修了式の見守り活動の際に警察官だけでなく、敬老会や見守りボランティアとの立哨活動を実施
	イ こども110番の家の場所と利用方法を、警察官から親への周知
	ウ 交通ルールやヘルメット着用の大切さを教える交通安全教室を学年を限らずに実施
	エ 中学生・高校生の非行防止対策として、人の集まりやすい場所の警戒を強化
	(3) 推進施策
	ア 答申事項アについて
	(ア) 修了式における見守り活動を実施
	(イ) 新入学児童に対する見守り活動を実施
	イ 答申事項イについて
	(ア) 市役所等への働きかけ
	(イ) 学校、地域住民への働きかけ
	ウ 答申事項ウについて
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
(ア)	小学校中高学年に対する自転車教室を実施
(イ)	小学校低学年に対するバスなどを使用した交通安全教室を実施
エ 答申事項エについて	
(ア)	公園における警戒の実施
(イ)	鉄道駅や大型商業施設、夜間のコンビニエンスストアにおける警戒 の重点的な実施
(ウ)	少年補導の実施
(エ)	新小学1年生に向けた注意喚起レジュメの配布
5 諮問	
(1)	諮問事項
特殊詐欺被害防止対策と防犯カメラの設置拡充方策について	
(2)	諮問事項設定理由（生活安全課長説明）
県下的にも蒲郡警察署管内においても、特殊詐欺被害が発生しており、 投資型詐欺やSNS型投資詐欺などの手口が拡大している。これに対抗す るためのツールの一つとして、防犯カメラの設置拡充も必要とされている。 これらの施策について忌たんのない意見を求めるため	
6 協議	
(1)	特殊詐欺被害対策について
委員	・ 高齢者に犯人の手口を教えるのはいいが、犯人の手口は更に巧妙 になっている。
	ニュースを見ている、簡単に闇バイトに若者が入り込んでいく イメージがある。
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
若者には教育することが必要である。	
犯罪に足を突っ込ませないことを教えていくことが大事なのではないか。	
委員	・ 特殊詐欺に対する犯人の刑罰が軽すぎるのではないか。
被害金額の程度に釣り合っていないように思う。	
委員	・ 闇バイトで出し子になるとどうなるのか具体的に教育するとい
のではないか。	
軽い気持ちで入っても個人情報を握られて抜けることができなく	
なるということを早いうちに具体的に教育をしてはどうか。	
委員	・ 最近の金融機関では、多額の現金をおろす際に声掛けをしっかりと
しており、対策がとれている。	
そこで高齢者が自宅に保管している現金が狙われている。	
委員	・ 老人会や長寿会への出前講座をして、高齢者に他人事ではないこ
とを教えてほしい。	
危機感を持たせるためには寸劇などで行ってはどうか。	
委員	・ 中学生や高校生、大学生が容易に闇バイトに加担している。
自分の人生が終わってしまうことをよく理解をさせてほしい。	
委員	・ 若い人や学生は、知人に紹介されるのが闇バイトとわかっていて
手を染めるわけではないと思う。	
ほとんどの人は闇バイトが危ないというのはわかっているが、そ	
れが闇バイトといかにして見抜けるようにするかが必要ではないか。	
委員	・ スマートフォンに対する対策がないと無理ではないか。
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
委員	・ 詐欺のメールを受け取っていない人はいないと思う。 電話会社などの配信会社で対策ができるように働きかけをしたらどうか。
(2) 防犯カメラの設置拡充方策	
委員	・ 数年前までは、防犯カメラを設置するのはハードルが高かったが、設置のガイドラインや市役所の設置に対する補助金事業、防犯カメラの効果が周知されたことにより、設置への理解が広まった。
委員	・ 私は事務所につけている防犯カメラ映像を何回か警察に提供をしている。 電柱などについている大きなプレートでなくていいので、警察に防犯カメラ映像を提供した際に、協力していることを示すステッカーがあると有り難いと思う。
委員	・ 防犯カメラと言って、外に付けることを考えるかもしれないが、事務所などの室内から外を撮影するカメラを増やしてはどうか。 屋外用の防犯カメラは値段が高いが、室内用の防犯カメラは安くハードルが低い。電気代は各事業所であれば必要経費とできるのではないか。
委員	・ 防犯カメラを増やすには市役所を動かさないといけない。市役所が動くには予算が必要であるが、予算を得るには議員にどれだけ防犯カメラが必要かを意識してもらう必要がある。
7 答申	
(1) 受け子等、少年を特殊詐欺に加担させないため、大学を含めた各学校に	
記録者	警務係長

